

# シラバスシステム引継文書 (2010-2011) ( 変更点概要編 )

岡山県立大学シラバス管理システム 2009 開発チーム  
2010 年度 D1 小宮山

最終更新日:2010 年 11 月 8 日

## 本文書の概要

本文書では、シラバスシステム 2011 における実装上の変更点について主に述べる。

## 1 変更点概要

### 1.1 tex

ptetex3 から ptexlive2009[1] に変更を行った。

#### 1.1.1 対応文字

OTF パッケージの UTF 命令と UTFM 命令を使い分けることで、繁体字や簡体字、ハングルや和文フォントの範囲以外の記号についても出力可能とした。

### 1.2 PDF 生成成功判定

PDF ファイルの更新時刻により PDF 生成成功判定を行うようにした。

## 2 tex

ptetex3 の後継である texlive へ移行した。現段階で最新である texlive2009 を使用している。本移行は、以前のシステムが稼働していた OS(Vine 4.2) のサポート終了を迎えたこと、及び学科のサーバ上での仮想マシンでの運用となることを受けたものである。

## 3 対応文字

### 3.1 ptexlive への変更に付随するもの

UTF で記述した tex ファイルを kanji オプションなどを介さずそのまま扱えるようになった。これにより、OTF パッケージの UTF 命令などを使わなくてもエラー無く組版することが可能になった。ただし、和文フォント以外の範囲にある文字については空白になってしまう。

### 3.2 CJK

従来の和文フォントの範囲以外にある簡体字や繁体字、ハングルや記号について PDF ファイルに cid を用いて出力を可能にした。ただし、和文フォントの範囲以外の文字を表示するためには、Adobe Reader の場合は言語パックのダウンロードが必要となる他、和文フォントのみしか表示できないビューワも存在する。

## 4 PDF 成功判定

これまでは、dvi ファイルが生成されているかどうかによって、PDF 生成の成功判定を行っていた。

## 5 他

### 5.1 フォントマップ

教科名部分の太字を出す場合に、`simplified Chinese -- sans serif` に割り当てられている `STHeitiStd-Regular` で問題が発生する。そのため `STSong-Light` を割り当てよう変更した `otf-ctx.map` を `dvipdfmx` の `f` オプションで指定している。

### 5.2 パス

`platex` 及び `dvipdfmx` のパスの指定を `value.inc` で行うよう変更した。

### 5.3 年度指定

シラバスの年度を `value.inc` で指定するよう変更した。

## 参考文献

- [1] ptexlive wiki, <http://tutimura.ath.cx/ptexlive/>
- [2] AdobeJapan1-6, <http://partners.adobe.com/public/developer/en/font/5078.Adobe-Japan1-6.pdf>